

2回目のレポートでは、京畿道について紹介します。

京畿（キョンギ）という名前が歴史に初めて登場したのは、今から約1,000年前の1018年であり、首都の開城（ケソン）の外郭地域を指して「京畿」としたことからです。京畿の「畿」の文字を分けてみると、「田」と「戈」を見ることができますが、昔から官吏の禄高を担う場所及び首都防御の役割を果たしていた場所であることを意味しています。

現在、京畿道は首都であるソウルをドーナツの穴とすると、その穴を取り囲んでいるパン部分の地域です。朝鮮半島の中央に位置しており、海路と陸路を利用して国土の南部と北部を繋げる場所に位置しているので、古代時代から主要な都市でした。紀元前1世紀頃には百済（ベクチェ）という国が河南慰禮城（ハナムウイレソン）というところに都を定めたりもしていました。

1950年に起った朝鮮戦争によって、韓国の主要地域のソウルと京畿道地域は焦土化され、莫大な被害を受けました。しかし、戦争後に経済開発を推進し、1950年代には首都圏地域は、軽工業が発展し、1970年代には重化学工業が本格化されました。

地域の拡大に制限があったソウル(605平方キロ)とは違って、広い地域(10,186平方キロ)の京畿道は、1990年代以降、急激な人口増加と経済発展を迎えました。人口1,365万人(全国の25.7%)、経済活動の人口731万人(全国の25.8%)、就業者数706万人(全国の25.7%)、地域総生産474兆ウォン(全国の24.9%)などの様々な分野で全国1位であり、大韓民国を牽引している地域です。

京畿道は31の市郡からなっていて、このうち人口が100万を超える都市は3カ所で、30万を超えている都市は13カ所です。代表的な都市としては、京畿道庁と世界文化遺産の華城（ファソン）がある水原(スウォン)市、多目的展示コンベンションセンターであるキンテックス(KINTEX)と毎年国際花の博覧会が開かれる一山（イルサン）湖水公園で有名な高陽（コヤン）市、韓国民俗村とエバーランドなどの観光地があり、半導体クラスター(122兆ウォンを投資、4.5平方メートル)を造成予定である龍仁（ヨンイン）市などがあります。

京畿道は21世紀の知識基盤産業の絶対の条件である世界水準の通信・ITインフラを構築

し、4次産業革命に備えた革新クラスターの造成を積極的に推進中です。代表的な産業施設としては、板橋（パンギョ）テクノバレーがあります。また、道内に位置する大企業としては、サムスン(半導体、電子)、SKハイニックス(半導体)、NHN(通信)、起亜自動車(自動車)などがあります。

#### ○ 板橋テクノバレー

板橋テクノバレーは、グローバルIT・BT・CT・NT(注1)中心のグローバル融合・複合R&Dハブで、技術革新・人材育成・雇用創出・国際ビジネスの競争力強化など、国の新成長エンジンを確保するために造成された京畿道の代表的な革新クラスターです。454,964㎡の敷地面積、1,309社が入居して63,050人が働いていて、2019年度の売上高の合計は87.5兆ウォンです。

(注1)IT: 情報技術 (Information Technology) 、BT: 生命工学技術 (Bio Technology)

CT: 文化コンテンツ技術 (Cultural Technology) 、NT: ナノ技術 (Nano Technology)

京畿道は北東部の山岳地域から南西の海岸地域に至る豊かな自然条件と、大韓民国の歴史と文化を背景にした観光資源を保有しています。京畿道の山・寺・滝・海辺・川・文化・歴史遺跡・博物館・美術館・リゾート・公園・ゴルフ場・温泉などには、多くの方が訪れています。

(京畿道の観光情報 URL:<https://jp.ggtour.or.kr/jp/>)

参考)京畿道庁 URL:<https://japanese.gg.go.kr/>

また、京畿道では新しい年度になると前年と比較して変更になった政策について道民らに知らせています。2020年度、京畿道の変わる制度と政策の中で、福祉・保健・女性・教育・労働・分野について紹介します。

#### 1. 京畿道の青年に生涯最初の国民年金を支援します。

青年たちが国民年金に早期加入し、未来設計の基盤を築けるよう目指す

京畿道に居住する18歳を青年対象として、国民年金の最初加入保険料の9万ウォンを支援

#### 2. 全生涯の統合ケアシステムを構築します。

社会サービスの従事者（老人ホーム、介護施設、保育園等で従事する者）を公共で直接雇用することで雇用の安定とサービスの質の向上を図る

乳幼児からお年寄りに至るまで、全生涯の統合ケアを構築する

3. 京畿道の青年に就職活動を支援します。

18歳から34歳以下の未就業の青年が就職のため、面接を受ける時、1回に1万5千ウォン、最大6回まで支援

4. 京畿道の『青年労働者の通帳』を拡大運営します。

中小企業で働いている、月給260万ウォン以下の18-34歳の青年労働者に、年間120万ウォンを支援

5. 京畿道型、緊急福祉の支援を拡大します。

主所得者の死亡、重大な疾病、失業などの危機に直面した低所得層を支援

1人世帯45万ウォン、4人世帯119万ウォンほど支援

6. 民間の医療機関、手術室のCCTV設置を支援します。

2019年10月に公共医療機関である京畿道医療院の手術室にCCTVを設置

2020年からCCTVの設置を希望する病院に対して1カ所当たり3,000万ウォンを支援

7. 精神疾患患者の治療費を支援します。

初期診断(検査)費、応急入院費、外来診療費、薬剤費などの外来診療費用と行政入院費を支援

外来診療費用は最大一月に三万ウォン、入院費は最大100万ウォン、初期診断費は40万ウォン、応急入院費は制限なし

8. 児童ケアの政策を拡大します。

京畿道児童保護支援条例を制定し、共働き家庭などのために夕方と休みなどに対応

統合管理のため、『京畿道児童保育センター』4カ所設置する予定

9. 新入生の制服を支援し、代案教育機関（オルタナティブ・スクール）の給食費を支援します。

父母の教育費負担を減らすため、高校新入生まで拡大して推進

道内の中学校、高等学校の1年生に（29万9,000人余り）30万ウォンの相当の制服を支援

10. 京畿道の生活賃金（生活に必要な1時間あたりの賃金基準）を上げます。

2019年には1万ウォン、2020年からは1万364ウォンの生活賃金を上げ

京畿道及び傘下の公共館が直接雇用した労働者、間接雇用された民間委託及び用役労働

者にも適用する予定

11. 移動労働者や現場労働者の休憩施設を改善します。

代理運転手、クイックサービスなど移動労働者らが休憩できるスペースを4つの地域に設置

大学で掃除などを行っている現場労働者の労働環境改善のため、休憩施設にエアコン、浄水器などインテリア改善費用を支援する予定

12. 週52時間働く政策のため、労働者と会社が共にするワークライフバランスを支援します。

100人以下の中小企業30余か所を選定し、趣味・文化・芸術などのプログラムの運営費を500万ウォンまで支援

13. サービス業従事者などの心理治療を支援します。

サービス業従事者、解雇された者、職場内いじめなどに遭った人々を精神健康福祉センターと連携し、相談から治療まで支援

14. 外国人向け通訳のサポーターを運営しています。

コミュニケーションが難しく、公共機関・病院・銀行などを利用する上で不便を強いられる外国人のために『京畿道外国人通訳サポーターズ』を推進

15. 参戦名誉手当てを引き上げます。

国家のために犠牲になった朝鮮戦争やベトナム戦争功労者に対する参戦名誉手当てを15万ウォンから24万ウォンに引き上げ